

大腸がん検診について

皆さまは、便潜血検査について、どのようなイメージをお持ちでしょうか？

便潜血陽性で外来を受診された方からよく耳にするのは「痔のせいだと思っていた」「2年連続で陽性になったけど、今年も大腸カメラを受けなければいけないのか」などという声です。「以前に陽性になったことがあるが、放置していた」ということも少なくありません。

・痔のせいだと思っていた

痔があっても、陽性となる人が必ずしも増えるわけではなく、便潜血検査陽性とならない人が大半です。便潜血検査では、その出血が、痔の出血によるものなのか、大腸の病気によるものなのかを区別することはできません。つまり、大腸内視鏡検査などの精密検査で判断する必要があるということです。陽性となった場合は、精密検査を受けましょう。

・2年連続で陽性になったけど、今年も大腸カメラを受けなければいけないのか

前回の大腸内視鏡検査の所見によりますので、前回検査を受けた病院へ問い合わせてください。すでに大腸内視鏡検査を何回も受けていて、ポリープが見つかっていなければ、精密検査の必要性は低くなるでしょう。しかし、大腸内視鏡検査のポリープ見逃し率は、10-20%程度とされていますので、自信を持って受けなくてよいと言い切ることもできません。

要精査となったら「検査を受けるチャンス」です。侮らずに精密検査を受けることをお勧めします。

・以前に陽性になったことがあるが、放置していた

便潜血陽性が判明した場合、欧米では3ヶ月以内に精密検査を受けることが推奨されています。精密検査を受ける時期が遅れた人では、大腸がん罹患数と大腸がん死が増えることがわかっています。陽性となった場合は、早めに検査を受けてください。

最後に

最新のがん統計によれば、日本人の生涯がん罹患率は、2人に1人（男性 65.5%、女性 51.2%）であり、がんで死亡する確率は男性 26.2%、女性 17.7%です。大腸がんは罹患数で1位、死亡数で2位を占めており、男性の10人に1人、女性の12人に1人が一生のうちに大腸がんを診断されています。大腸がんは決して珍しいがんではありません。

本邦の大腸がん検診で採用されている「免疫便潜血検査2日法」は、早期大腸がんの感度が約50%、進行がんの感度が約80%です。1回の検査感度が低い場合であっても、繰り返し検診を受けることで、治療可能な時期にがんを発見することができますので、検診は毎年受けてください。

そして、便潜血検査陽性となった方は、お近くの医療機関を早めに受診してください。

～図書紹介～

新刊図書の一部です



ガマンしていませんか？ 带状疱疹の痛み

岡秀昭(ライフサイエンス出版)

脇のあたりが痛い。赤いポツポツの発疹が出てきた。「带状疱疹かも？」直ちに医療機関を受診してください。



70歳からのボケない勉強法

和田秀樹(アスコム)

勉強はあなたの人生を豊かにしてくれる「最高の道具」、何歳になっても知的で若々しく、充実した人生を。



小さな町で評判の歯科医が解説 歯周病になったらどうする？

亀井孝一朗(アスコム)

全身に影響を及ぼす可能性のある恐ろしい感染症。それが「歯周病」です。



「説明が上手い人」がやっていることを 1冊にまとめてみた

ハック大学ペソ(アスコム)

話し方は流暢ではないのに説明が上手い人がいます。ちょっとした「コツ」を知っているかの違いです。



名医が教える免疫力が上がる習慣

小林弘幸(アスコム)

こんなちょっとしたことで、免疫力が変わるんです。



ハーバードの研究者が教える 脳が冴える33の習慣

川崎康彦(アスコム)

すべては脳の使い方次第。ワンパターンな思考をやめ、新しい世界を開くための「ハーバード式33の習慣」。

お勧めの一冊

かみさまは小学5年生

多忙な毎日を過ごす中「辛い、疲れる、忙しい、面倒くさい……」などついネガティブな言葉が先立ちます。そんな中でも日頃頑張っている自分へエールを送りたいものです。時には高い壁に立ちだかたり、涙を流したりすることもあります。たった一度きりしかない今世、誰もが後悔しないように生きたいと願いたいものです。

自分が悩んだ時、元々スピリチュアルに興味があった私はこの本に出会いました。「ホームランを打とうとするな、ヒットでいい!!」「あなたは世界でたった一人のたからもの」の章を読んでずっしり重かった頭と心が軽くなりました。多種多様な視点からのアドバイスが掲載されています。是非、この本を読んで今世の楽しみ方のヒントを見つけてみて下さい。



(看護部 真部和歌子)

【お知らせ】

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことにより、地域の行事や催し等が開催され活気が出てきました。また、この季節は木々や草花も色鮮やかに咲き、とても心が癒されます。私たちががん相談支援員は、皆さんの相談に幅広く対応できるよう取り組んでいます。5月からは「乳がん患者会」「あづまっぺ」「ウィッグ相談会」を開催しています。院内にポスターを掲示してありますので、ご覧いただきお気軽に足を運んでいただければと思います。お電話でも対応させていただきますので、是非ご連絡ください。

(がん相談支援センター 古沢しのぶ)